

# 血液一般検査について No. 2

ひかりが丘薬局

H21. 4 月号

## ☆今月は白血球です☆

### —白血球—

体内に細菌や異物が侵入すると、それらを自分の中に取り込み、分解して無毒化するという大切な働きをしています。

そのため、体内に細菌や異物が侵入して炎症をおこすと、白血球がさかんに作られ、血液中に白血球が増えます。

### <正常値とその変動>

- ・年齢によって異なる正常値

生まれたばかりの赤ん坊は、1 mm<sup>3</sup>あたり1万個以上。5歳以下の幼児は、6000～11000個、6～14歳の小児では、6000～10000個。15歳以上では、4000～9000個が正常値とされています。

- ・運動やストレスによる変動

白血球数は、激しい運動や入浴、ストレスなどが原因で、一時的に増えることがあります。また、食事の後に増えることがあります。

### <検査でわかること>

- ・増加している場合…2通りの原因が考えられます。1つは、体に害となる細菌などが体内に侵入したとき。もう1つは、白血病などで骨髄が異常増殖をおこした場合です。

白血球数の増加のほとんどは、扁桃炎や肺炎、胆のう炎、胃腸炎など細菌による感染症と考えてよいでしょう。

- ・減少している場合…骨髄の働きが低下した場合と、古くなった白血球を壊す脾臓の働きが異常に高まった場合や薬剤の副作用による骨髄の機能障害が起きた場合に減少します。3000個以下と少ないときは、体の防御反応が低下し、感染しやすくなります。

